



今でしょ!! コミバス、地域バス

はしづめ圭一

鈴鹿市 議会議員

クルマに
乗らなくても
元気に暮らせる町に



日本共産党

高齢化社会を迎える中で、クルマを手放したら何も出来ない、生活の足を何とかしてほしい、クルマに乗らなくても元気に暮らせる町にしてほしいという声があがっています。

日本共産党は、地域巡回小型バスと、主要中心街を周回する中型乗合バスの組み合わせで、高齢者や交通弱者の生活交通網の確立をめざします。

また、多くの市民に愛され市の財政負担も少ない方法を探求し、①乗車運賃無料、②地域バスと中央循環バス、③市の直接の事業でを提案しています。

市民の生活交通で6回の一般質問

年4回の定例議会では、必ず一般質問を行って市民の皆さんの声を届けてきました。そのなかでも、「生活交通」について4年間で6回行い、現状の問題点を指摘し提案を続けてきました。

また、三重県玉城町、岐阜県関町、養老町、輪之内町、愛知県刈谷市など、すぐれた地域交通を視察してきました。

この間の質問を通じて、3つの視点が大事だと述べてきました。①多くの市民が利用できる交通システムを、地域ぐるみでつくること。②利用者の負担、市税の負担をなるべく低く抑える方法を考えること。③公共交通サービスの提供は自治体の責任である、という3つの視点です。

そのうえで、乗車運賃無料のメリットと、地域バスと中央循環バスの運行を提案してきました。



皆さんの声を市政に届けて

切実な要求・課題で一般質問してきました。

- 高齢者の生活交通①
- 白子駅前雨水排水/高齢者の生活交通②
- 国民健康保険(一般財源補てん)
- ／高齢者の生活交通③
- 津波防災・避難訓練
- 公民館等のトイレ改修
- ／地域づくり協議会推進/人権尊重のまち
- 図書館サービスの向上と改革
- ／土地開発公社の所有地
- 介護保険「新総合事業」
- マイナンバー/国民健康保険(賦課と収納)
- 高齢者の生活交通④
- 生活保護行政について
- 下水道経営について
- 橋梁の耐震化と津波避難路について
- ／地域づくり協議会の課題について
- 高齢者の生活交通⑤
- 鈴鹿市の雨水対策
- ／乳幼児の発達とメディアの弊害
- 保育園の休日祝日保育について
- ／生活保護行政について
- 高齢者の生活交通⑥
- ／白子地区の都市計画道路について

詳しくはブログをご覧ください

日本共産党鈴鹿市委員会の政策と活動をお知らせします。

「すずか民報」2019年3、4月号外
発行責任者 辻井良和 TEL 386-0529

市街地が分散した街・鈴鹿市にかかわしい公共交通を

本年2月議会では、運賃無料で6路線運行し年間利用者が70万人を超える刈谷市(人口15万人)の例も示しながら、多くの市民が利用し親しまれる地域交通を検討することを求めました。



白子町(駅から西へ400m)に開設の後援会事務所にて

末松市長からは、「高齢化社会が進むなかで、お住まいの近くに公共交通機関が無かったり坂道が多いなど、生活していく中で移動手段に不安を感じる方々が増えてきていると肌で感じている。本市の公共交通空白地域の定義を見直すとともに、現在作成をすすめている手引き書を通じて、その地域の皆様と協議を行い、速やかに実証運行を開始し、地域に必要な公共交通を確立してまいりたい」という答弁でした。

鈴鹿市は市街地が分散した広い街です。移動手段を確保してほしいという要求はどの地域でもあります。皆さんの声を集めて、多くの市民に愛される生活交通を作り出して行きましょう。

鈴鹿市民のコミバスをよくする会(辻井良和会長、会員約150名)は、玉城町をモデルとした地域巡回バスの市内8地域での運行と、それらを結ぶ中央循環線を提案し、末松市長とも懇談を続けています。

コミバスをよくする会の生活交通・巡回バス費用試算(年間)

- 自主運行方式、1日9時間360日運行
- 地域巡回バス 8サークル
- ワゴン車16台 リース代 2,880万円
- 中央循環バス マイクロバス4台
- リース代 1,440万円
- 運転手賃金 6,480万円
- 燃料費 2,160万円
- オペレーター職員 16人=3,840万円
- コンビニクルシステム利用料 1,440万円
- 電話代など 120万円
- <合計>1億8,360万円

※財源は、市民からの協賛金などでまかない、市の財政負担は1億2千万円程度と試算。



辺野古の基地建設を強行、庶民に増税、大企業・金持ちには減税・・・もうガマンならないアベの悪政！
ウソ・隠ぺい・捏造・行政の私物化、そして軍備拡大・憲法9条の改悪。戦後最悪のアベ政治にストップを！



はしづめ圭一の略歴

1951年、大阪府阪南市に生まれる



1970年、大阪府立今宮工業高校を卒業。自動車部の親友と



ホンダで42年間機械加工職場で働き、2011年8月定年退職



2015年、市議会議員立に候補し当選。議会毎に市政報告「話の種」を発行

生活相談など
お気軽に連絡下さい

橋詰 圭一
☎ 090-6577-361 7
鈴鹿市岸岡町 2874-1
k_hasizume_12@yahoo.co.jp

日々の活動は
Facebookやブログ、HPで
はしづめ圭一 検索

子育て支援さらに前進を

日本共産党は提案します

子ども医療費、中学まで 全員「窓口無料」にします



今期、鈴鹿市の子ども医療費助成は小学生↓中学生まで無料になり、喜ばれています。また「窓口無料」も、この4月から2才まで↓6才(就学前)までに拡大される予定です。

「鈴鹿市の子どもはみんな大事な宝です。所得制限をなくし、窓口無料を小学生・中学生にも対象を広げ、病気の子どもを抱えてお金の心配をしないで済むようにします。」

「みんな窓口無料にすると予算が増えて大変だ」という理屈は、間違いです。どこも悪くないのに、タダだからといって医者に行く子どもはいません。

しかし窓口でいったん払うお金が大変だと、受診をガマンしている家庭は多くあります。「窓口無料」は、このような家庭のために必要なのです。一日も早く、窓口無料を実現させましょう。

学校給食費の 無料化をすすめます



2015年5月から、父母の皆さんが望んでいた中学校での完全給食が始まりました。

その一方で、小中学校に子どもが何人もいる家庭では、給食費(小学校月額4200円、中学校4750円)などの保護者負担も大きくなっています。

所得の少ない家庭には「就学援助」制度での支援があります(生活保護基準の1.5倍まで)が、基準を超えた家庭で

も負担は大変です。

憲法26条では「義務教育はこれを無償とする。」と明記されています。

いま各地の自治体でこの理念に基づき、給食費への補助が始まっています。

鈴鹿市でもぜひ実現させましょう。当面は多子世帯の負担を、保育料のように2人目・3人目から段階的に引き下げて、将来は全員無料になるように充実していきましよう。

子どもからも取る国保の 「均等割」保険料なくします



三重県14市中で3年連続・一番高い

鈴鹿市の国民健康保険料。高くても払えない、と悲鳴が上がっています。

なかでも、生まれたばかりの赤ちゃんにもかかる「均等割」(1人年額4万800円)は、国保にしかない、他の健保制度にもない、また先進国のどこにもない、古代にあった「人头税」と同じです。

子どもが3人いる世帯で12万円も国保料がはね上がる仕組みはおかしいと、全国知事会も国に見直しを求めています。

子ども医療費への市助成額は年間1人当たり3万円弱、その鈴鹿市が子どもから保険料1人4万800円を取り立てるとは矛盾の最たるもの、ただちに廃止すべきです。

国保加入者のうち18才までの子どもは約4千人、1億円ほどを基金や一般会計から繰り入れれば、子ども「均等割」はなくせます。

このままでは危険！古い学校・ 保育所の改修・建て替えを急げ！！

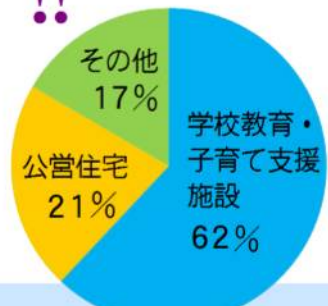
いま鈴鹿市では、老朽化がすすむ公共施設(築35年超)の6割が、学校教育施設と子育て支援施設です。ところが、その改修・新築の具体的な計画はありません。2019年度予算で、西条保育所(新築移転)、石薬師小体育館建設(工)、大木中(改築の基本設計)の3件が

計上されたのみで、来年度以後は見通しも示されていません。このままでは、ボロボロの校舎・園舎だらけになってしまいます。

共産党市議団は、早期かつ集中的に改修・新築を行なう計画を立て、最優先で進めることを提案しています。

築40年超の
保育所5園
小学校22校
中学校6校

(2018年現在)



築年数35年以上施設の類型別内訳



玉垣保育所(築50年)



庄野小(築45年)



白子中(築58年)